



東京都立晴海総合高等学校 キャリアカウンセラー通信

海風

No 4
2023年2月28日
令和4年度 第1号

東京都立晴海総合高等学校 〒104-0053 東京都中央区晴海1-2-1 電話：03-3531-5021

<https://www.metro.ed.jp/harumisogo-h/>

発行人：桜井 伸一

「学校に集まって学ぶ意味とは」

2023年を迎え、いわゆる「アフターコロナ」に向けて世の中の動きが活発化する1年になると、さまざまな立場の人が予測をしています。約3年にわたるコロナ禍で制限されたことといえば、対面によるコミュニケーションであり、特にその中でも集団での活動がほぼできなかったという印象を受けている人が多いと思います。これらの制限を補完するツールとして、「リモート」と一般的に称される Microsoft Teams や Google Workspace などのグループウェアのビデオ会議機能が活躍しました。コロナ禍以前の学校は、IT機器やネット環境の整備が遅れていると指摘されることがありましたが、コロナ禍で一気に環境整備が行われました。この「リモート」化は、学校以上に企業で進んでいる傾向があり、中には、社外で「リモート」にて仕事をするを原則にするところもあります。こうした流れは、コロナ禍以降も大きく変わらないという見方が一般的です。最近、対面で集まる意味について議論され始めています。今回は、「職場に人が集まる意味」を調査したリクルートワークスの調査結果を紹介した上で、学校に集まって学ぶ意味について考えたいと思います。

この調査で明らかになったことは、集まることの「本質」をどう捉えるか、これを集団内のメンバーの間で共有することが、一体感やチームワークを左右するということです。コロナ禍以前は、集団の中での雑談や共同作業などを繰り返す中で次第に集まることの意味付けがなされ、その結果、集団の一体感やチームワークが醸成される傾向がありました。しかし、集団で集まること減少した今日では、以下（資料）の4つの価値が共有された集団の中にいる人が、一体感やチームワークまたはやりがいを感じる傾向があるとのことでした。

これを晴海で考えると、産社班、系列の授業、委員会活動、部活動、学校行事など、4つの価値を実感できそうな場がたくさんありそうです。一方で、ただ活動するだけでは価値の実感は難しそうです。何のために取り組むのか、目標達成に向けて何が課題なのか、自分や他者にとって心と体の安心・安全が守られる場なのかなど、メンバー全員で語り合える関係性が必要でしょう。またこの関係性は、先生だけで築くことは不可能で、生徒みなさんの力がとても重要です。「なんとなく学校に来る」ではなく、「4つの価値を感じる集団になるために、今自分に何ができるのか」を絶えず考え行動することが、主体性や自律心を養う源となり、これが学校に集まる意味を実感できる一要因かもしれません。

<資料> 集まる意味を実感できる集団がもつ4つの価値

- ①感情共有の場：他者に感情や本音が言えつながりを実感できる場
- ②気づきの場：仕事の役に立つ情報が得られる集まり、問題解決のための対話の場
- ③一体感の場：自分の意見や行動が求められる場で共通体験をする機会
- ④自己開示の場：自分のスタンスや自分の考えや仕事について、同僚に意見を聞いて見たりする機会

No 4の内容

- 1 学校に集まって学ぶ意味とは
- 2 これからの時代の進路選びとは

参考資料

「職場における集まる意味の調査」調査結果 vol.2」

リクルートワークス研究所



参考資料

「高等教育段階における
デジタル人材育成の取組
について」
文部科学省



「これからの時代の進路選びとは」

晴海総合高校は開校以来、「興味・関心」に基づいた科目選択および進路選
びを推奨しています。時代の変化が激しくまた不確定要素が多い現代におい
て、自分の「興味・関心」だけで将来を考えてもよいのか、不安を抱えている
人も少なくないようです。キャリアカウンセラーの立場からは、「興味・関
心」に勝る判断材料はないのではないかとお話しています。

今回はあえて、今日の時代背景という切り口から、進路選択の判断材料とし
て役立つかもしれない2つの視点に基づく情報をご紹介します。ただし、具体
的な目標とする職業が明確で、その職業に就くことに特化した上級学校への進
学を考えている人ではなく、「進学した方が就職に有利だろう」と何となく考
えている人向けのお話です。ご紹介する理由は、「難易度」以外の視点から
も、上級学校選びを検討して欲しいという願いからです。

「専修学校と業界団体等と
の連携による DX 人材養成
プログラム」

文部科学省



(1) デジタル人材の育成の拠点となる上級学校

「デジタル人材＝情報系学部」というイメージをもっている人が多いと思
いますが、今やあらゆる産業分野で、デジタル社会の「読み・書き・そろばん」
とも言われる「数理・データサイエンス・AI」について、専門性が高い人材が
求められています。しかしながら日本国内では、ほぼすべての分野で、専門性
が高い人材の不足、そして専門性が高い人材を育成する高等教育機関が不足し
ています。そこで文部科学省は、デジタル人材を育成する高等教育機関の支援
に乗り出しました。具体的には、左のQRコードのリンク先にある資料に記載
されている上級学校が、デジタル人材を育成する中核的教育機関となる予定で
す。見て頂くと多種多様な分野の上級学校であることがわかります。

「ジョブ型研究インターン
シップ推進協議会

会員大学」



(2) ジョブ型研究インターンシップに先進的・試行的に取り組んでいる大学

晴海の在校生のみなさんが大学を卒業するころには、これまでのような大卒
一括採用からジョブ型採用への移行が本格化すること、そして、採用活動を前
提とした長期インターンシップが大学在学時に始まる予定であると言われてい
ます（詳細は今後のガイダンスで解説します）。Society 5.0に相応しい雇用の
在り方と高等教育が提供する学びのマッチングを目的とした、研究拠点大学一
覧を左のQRコードから見るができます。これは大学院卒の研究職を対象
にした研究ですので、大卒の就職活動と直接関係があるとは言えませんが、大
学教育の要である研究活動と卒業後の就労の接続をどうすればよいのかとい
う課題を、先進的に検討している大学と言えるかもしれません。

★キャリアカウンセラーへの相談をお待ちしています★

登校日の昼休みおよび放課後に、**2階ガイダンスセンター**でお待ちしています。不在の場合は、**5階商業科・情報科職員室**を尋ねてください。

